

一 般 質 問

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

(4面～6面) 6月5日、7日、8日、11日

- (自 民 党・信 頼) 自由民主党・信頼の小金井
- (日 本 共 産 党) 日本共産党小金井市議団
- (公 明 党) 小金井市議会公明党
- (み ら い) みらいのこがねい
- (こ が お も) 小金井をおもしろくする会
- (市 民 会 議) こがねい市民会議
- (情 報 公 開) 情報公開こがねい
- (改 革 連 合) 改革連合
- (生 活 者 ネット) 生活者ネットワーク
- (こ が あ す) 小金井の明日をつくる会
- (市 民 カ エ ル) 市民といっしょにカエル会
- (緑・つながる) 緑・つながる小金井

武蔵小金井北口再開発の今後／ごみ収集改善

村山ひでき (みらい)

①武蔵小金井北口駅前地区市街地再開発準備組合が解散したが(ア)今後の市の方針である「街区全体の再開発にこだわらない任意の共同化」とは。(イ)市としてできることは。(ウ)商店街の通りを整備すべき。

都市整備部長 (ア)都市再開発法に基づかず個々の権利者が共同でビルを建設することが任意の共同化である。閉店した大型店舗より東側について早期の共同化を検討していると聞いています。(イ)これまで同様に情報共有し、国や都の補助制度も協議した上で必要な財政的支援も図りたい。(ウ)今年

度中に策定予定の無電柱化推進計画に位置付けられるよう検討したい。

②ごみ収集について。(ア)夏季だけでも燃やすごみの収集を午前中に終わるよう改善を。(イ)火災時の建築廃材処理を無料にできないか。(ウ)消費者トラブル防止のために遺品整理等の臨時ごみを扱う業者を条件付きで紹介しないか。

環境部長 (ア)収集車を1台増やすと月約124万円掛かり50分しか短縮できず、午前中に収集するには、各地区に3台増車が必要になる。(イ)現状は産業廃棄物の収集許可業者に依頼してもらっているが研究する。(ウ)研究課題の一つとして考えている。



子どもが伸びやかに暮らす小金井市の実現を

鈴木成夫 (みらい)

①いじめをしない、させない小金井実現のため、条例策定に取り組みないか。

教育長 子どもたちの現状が更に複雑化、多様化し、いじめ問題についてもより専門的な立場から意見を頂き、いじめ対策委員会を作り、弁護士、ソーシャルワーカーなど、様々な専門家に施策について検討していただき、改善の知恵を頂くことは大事なことで認識している。これまでの取組を延長する意味合いで、小金井市いじめ防止条例の策定を検討していきたい。

②放課後等デイサービス報酬区分の導入により、重

度のお子さんの割合が50%を超えないと事業所報酬単価が下がる制度変更の影響について市の見解は。

福祉保健部長 平成30年4月1日時点の指標該当状況に関する通知を230人全員に送付し、報酬改定や利用料金に影響が出る可能性を記載している。今後、説明会を含め、より丁寧な説明の方法・内容について検討し、適切な周知を行う。情報収集しているが、重度の方はそう多くないと認識している。報酬改定から2か月経つ中で、影響については市内事業者や近隣市の状況、国や都の動向を含めて積極的に情報収集に努めていきたいと考えている。



子どもたちを地域で見守る体制強化を

遠藤百合子 (自民党・信頼)

①子どもの安全安心の確保のために。(ア)子どもを見守る家(カンガルーのポケット)の継続と更なる推進を。(イ)スクールメールシステムの現状と課題は。(ウ)防災行政無線での「ふれあいメロディー」の活用を。(エ)こきんちゃんあいさつ運動で缶バッジ作成は。(オ)安全安心メール配信システムの利用拡大を。(カ)わんわんパトロールの理解と協力を。(キ)子どもを見守る強化月間の創設を。

学校教育部長 (ア)平成29年7月現在千166件、一層の周知徹底に努める。(イ)システムの活用ができるよう促

していきたい。(キ)どう展開できるか研究していきたい。

総務部長 (ウ)子どもの見守りの時間の目安として活用していく。(エ)缶バッジ2万個を作成し配布している。(オ)周知に努めていきたい。(カ)警察と協力、連携したい。(キ)学校行事や教育機関周辺での禁煙を。

学校教育部長 全校の禁煙化に向けて努力していく。

③中学校での防災訓練の実施及び消防団活動の周知教育を。

学校教育部長 消防署と連携し訓練を実施。消防団活動の周知徹底を図りたい。

④9年前に作った農家の庭先販売所マップの更新を。

市民部長 検討したい。



新庁舎建設について／本市でもAIの導入を

吹春やすたか (自民党・信頼)



①市役所新庁舎建設について。(ア)西岡市長は市民に対し、市長選挙公約が形を変えていったことの説明をしているのか。説明の方法と、説明会などを開いた場合の延べ来場者は何人か。説明責任を十分に果たしたと認識しているのか。(イ)広報活動は十分と言えるのか。(ウ)府中市では新庁舎特別広報誌、はがきでの意見募集、庁舎建設ふちゅうかわら版、更にキャラバン隊による周知活動を行っている。本市では出来ないか。

市長 (ア)市長報告を平成28年10月、12月、平成29年2月に行い、市報とホーム

ページにも掲載している。ワークショップに56人、市民説明会に58人が参加。(イ)市民の方々への声や、市議会からの声を可能な限り反映しながら積み上げてきたこの計画については、これからも丁寧に説明を積み重ねてまいりたい。

企画財政部長 (ウ)非常に参考になると思う。

②先進自治体ではAIの導入、実証実験が進められている。本市でも研究を進めるべきではないか。

企画財政部長 AIは自治体の業務及び運営を大きく変える可能性があると考えている。AIの活用については、情報収集、研究に努めたいと考えている。

「みどり号」廃止を受け市の対応を問う

小林正樹 (公明党)



①社会福祉協議会が運用する、「福祉バス「みどり号」」は、福祉団体はもろろんのこと、子ども会や悠友クラブ、町会自治会など多くの市民団体が利用し、市民活動の足となっている。活動を支援する補助策など、市の考えを問う。

福祉保健部長 他市の補助事例等を参考に慎重に検討しなければならぬ。

②ものを大切にすることを育むために。(ア)文房具など不要な学用品の回収をしないか。(イ)フードドライブの回数を増やさないか。(ウ)東京都の子ども食堂推進事業補助金を得る為にも、子ど

も食堂連絡会の立ち上げ、活動を支援しないか。

環境部長 (ア)研究課題としたい。(イ)増やしたい。社会福祉協議会と協議する。

子ども家庭部長 (ウ)期待される効果はあると考える。団体に周知したい。

③玉川上水沿いの緑道整備活用の進捗について。(ア)平右衛門橋と横断歩道までの間の緑道の拡幅を。(イ)スロープの検討状況について。(ウ)誰もが歩きやすい緑道の検討状況について。

生涯学習部長 (ア)東京都教育庁に相談している。(イ)現段階では検討中。(ウ)整備活用推進委員会で、歩きやすく自然に近い土系の路面とする案が検討されている。

地域の見守る目を増やすためにできること

沖浦あつし (こがねい)



①肝心な時に、地域は学校を守れるのか。見守り活動を積極的にやっている方々も多くいらっしゃる中で、そうでない方でも見守りの意識を持っていただくことも大切。既導入の、こがねい安全・安心メールの受信登録者数が10人に1人いるかないかという状況で、地域の全ての人が気付けるものがあれば、見守る目を増やすことにつながる。学校の下校時間に防災無線を活用して見守りの呼びかけ放送をしないか。(近隣自治体で活用事例あり)

総務部長 夕刻に防災無線を活用するふれあいメロ

ディーは、あくまでも機器が正常に動作するかどうかの点検が趣旨である。見守り活動としての活用について、その目的等も他市の状況を調査・研究したい。

学校教育部長 実施ができるようであれば、地域の皆様に更に注意を促している取組である。

②転入者へ町会・自治会の加入案内は、希望がなければ配っていない状況。「わたしの便利帳」の掲載や差込書類を工夫しないか。

企画財政部長 「わたしの便利帳」の転入者向けや防災関連のページへの掲載の検討をする。転入者用スブック分への加入案内の差し込みは可能と考える。

市内保育所全園で巡回相談を実施しよう

白井 亨 (こがねい)



市内保育園での巡回相談(専門士派遣)について、公立5園では2か月に1度3職種の専門士が各園に派遣され、私立園では現在合計7園が市の補助制度を活用して専門士を派遣していることがこれまでの調査で分かった。(ア)巡回相談の必要性について市の考えは。(イ)利用ニーズのある他の私立園へのアプローチは。(ウ)補助額25万円上限の拡充などの検討は。(エ)幼稚園での巡回相談のニーズを調査しているか。(オ)幼稚園の現状把握から取り組まないか。(カ)児童発達支援センターきらりでは開設時に保育施設

への巡回相談が予定されていたが現状は。

子ども家庭部長 (ア)子どものより良い成長のため、大事な事業だと認識している。(ウ)民間園長会などの様々な機会で見聞交換をしている。(カ)今後どのような形にしていくなか研究・検討したい。

保育政策担当課長 (イ)現在は周知をしている。詳細についてはこれからである。(エ)詳細な聞き取り等は行っていない。

福祉保健部長 (カ)現在はできていない。今後は、この計画にある内容を、当該施設また、関係部署と連携して、どのような形で計画を実行できるか課題である。